

布され、各施設での回答を要請した。

### 3. 平成 18 年度アンケート調査

現在、アンケート結果の集計を行っている。

#### D. 考察

北海道の血液製剤使用適正化を図るため、平成 4 年度から「血液製剤使用に係わる懇談会」が組織されている。懇談会の委員は、1) 医療関係者、2) 学識経験者、3) 血液事業関係者、4) 関係行政機関、5) その他必要と認める者、と定められ、現在、北海道医師会代表 1 名、市中病院代表 1 名、医育機関代表 3 名（北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学）、北海道薬剤師会代表 1 名、北海道赤十字血液センター代表 1 名、北海道代表 1 名で構成され、毎年度末に会合を開き翌年度の適正化のための活動計画を立てていた。

その中で、北海道は全国平均に比べ献血量、献血率は高いが、アルブミン、赤血球濃厚液、新鮮凍結血漿（FFP）などの血液製剤使用量は、全国レベルをはるかに上回っていることは認識されていた。

そのため、本研究では、北海道の血液製剤使用適正化推進を実践する方策を検討した。

まず、北海道における輸血管理体制がどの程度確立されているかを把握するため、医療法第 25 条に基づく立入り検査時に、各医療機関の実態をアンケート調査した。本アンケートでは、輸血療法委員会の組織率、輸血管理体制一元化の実施率、責任医師の任命率、血液製剤使用量の把握と削減への取り組み率、廃棄血減少の取り組み率、などを調査した。

精神科のみを単独標榜している病院などを除く全道の病院 578 施設をアンケート調査の対象とし、517 施設（89.4%）から回答があった。

輸血療法委員会の組織率は全体では 25% にすぎず、300 床以上の施設でも 68.4% と本研究班の全国調査成績 94.2% と比べると明らかに低い値であった。

輸血管理体制の一元化率は、全体で 43% であった。300 床以上の施設でも 78.9% と全国調査成績の 85.4% と明らかに低い値であった。

責任医師は 20% の施設でしか任命されていないかった。300 床以上の施設に限ると 65% となるが、全国調査成績の 73.2% には及ばない。

血液製剤使用量の把握や使用量の削減に関しては、輸血療法委員会を持つ施設において積極的な取り組みがなされていることがうかがい知れた。

これらのアンケート調査の結果から、北海道内の医療施設の輸血療法委員会設置率を向上させる取り組みが必須と考えられた。そのため、年間 2000 単位以上の輸血用血液製剤を使用する全ての医療機関と、年間 2000 単位未満の使用量であるがすでに輸血療法委員会を設置している医療機関を対象に、合同輸血療法研修会を開催することにした。

北海道で始めてとなる合同輸血療法研修会には 88 施設から 151 名が参加し、活発な討論が行われた。また、本研修会では平成 18 年度分の輸血管理体制に関するアンケートを配布し、平成 17 年度の結果と比較検討する予定である。そして、その結果を基に血液製剤の適正使用を推進する方策を

見だし、次回、次々回の合同輸血療法研修会を開催する際の基礎資料とする。また、参加者から得られた本研修会の改善点や要望を加味した意義のある研修会に発展させていく。

## E. 結論

北海道の血液製剤使用適正化推進を実践するために、北海道の血液製剤管理体制をアンケート調査で把握し、合同輸血療法研修会を開催した。平成 18 年度も平成 17 年度と同様のアンケート調査を行い、現在調査結果を集計中である。得られた結果を平成 17 年度調査の結果と比較し、改善された点や改善が不十分な点を洗い出し、北海道の地域特性に見合った適正使用推進策を検討する一助とする。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 紀野修一：輸血療法委員会と輸血部門のあり方—現状と課題—。医学のあゆみ，218：571-577，2006
- 2) 葛西眞一，紀野修一：術前・術後に必要な処置 輸血。消化器外科，29：431-436，2006
- 3) 高橋孝喜、稲葉頌一、半田誠、坂本久浩、比留間潔、河原和夫、松崎道男、窪田良次、程原佳子、今中雄一、大塚節子、紀野修一、高松純樹、佐川公矯：2004 年度輸血関連総括アンケート調査報告-輸血部門の管理体制および輸血療法委員会に関する調査-。日本輸血学会雑誌，52：414-421，2006
- 4) 青木貴徳、紀野修一、山崎弘貴、小原充裕、葛西眞一、山崎浩、伊藤亮：単純性

肝嚢胞の 1 例：Em18-WB による鑑別診断の有用性。日本消化器病学会誌，103：955-960，2006

### 2. 学会発表

- 1) 紀野修一、友田豊、青木貴徳、石崎彰、葛西眞一：肝臓外科手術と適正輸血（シンポジウム：輸血用血液、分画製剤の適正使用）、第 53 回日本輸血学会総会、平成 17 年 5 月 26 日、千葉
- 2) 紀野修一、友田豊、遠藤玲美、葛西眞一：バーコードによる輸血チェックシステム導入とその初期経験、第 53 回日本輸血学会総会、平成 17 年 5 月 26 日、千葉
- 3) 友田豊、紀野修一、葛西眞一：卒業間近の医学生が行う血液型判定は危険である、第 53 回日本輸血学会総会、平成 17 年 5 月 26 日、千葉
- 4) 紀野修一、友田豊、遠藤玲美、渋谷琴恵、葛西眞一：当院における輸血照合システムと導入早期の状況、第 49 回日本輸血学会北海道支部総会、平成 17 年 10 月 29 日、札幌
- 5) 友田豊、渋谷琴恵、遠藤玲美、紀野修一、葛西眞一：輸血によるウイルス感染を輸血前後の保管検体で確認した 1 症例、第 49 回日本輸血学会北海道支部総会、平成 17 年 10 月 29 日、札幌
- 6) 遠藤玲美、渋谷琴恵、友田豊、紀野修一：当院における自己血輸血の現状、第 49 回日本輸血学会北海道支部総会、平成 17 年 10 月 29 日、札幌
- 7) Kino S, Ishizaki A, Aoki T, Karasaki H, Inagaki M, Kasai S: Blood conservation in liver surgery. The 22th Pan-pacific Surgical Association -Japan

Chapter. 2005-11-3, New Caledonia

8) 紀野修一、友田豊、葛西眞一、生田克哉、佐藤一也、高後裕、森下勝哉、佐藤進一郎、加藤俊明、池田久實：ウイルス再活性化による輸血後 B 型肝炎ウイルス陽転化の一例. 第 54 回日本輸血学会総会, ポスター：平成 18 年 6 月 11 日, 大阪

9) 紀野修一：輸血部における安全な輸血管理と適正使用 - 当院の取り組みと解決すべき問題点 -. 第 54 回日本輸血学会総会, 輸血問題検討部会：平成 18 年 6 月 11 日, 大阪

10) Kino S, Tomoda Y, Endo R, Shibusa K, Sato K, Torimoto Y, Kogo Y, Morisita K, Sato S, Kato T, Ikeda H : Reactivation of hepatitis B virus (HBV) in a multi-transfused patient -confirmation by look-back study using stored specimens-. XXIXth International Congress of the International Society of Blood Transfusion, Poster : 2006/9/4, Cape Town

11) 紀野修一、高松純樹：国公立大学病院輸血部会議から日本赤十字血液センターへの要望 - 過去 5 年間の要望事項と回答 -. 第 30 回日本血液事業学会, オピニオン：平成 18 年 10 月 4 日, 札幌

12) 紀野修一：最近の輸血療法に関する話題. 第 40 回日本臨床検査医学会北海道支部会, 教育講演：平成 18 年 10 月 21 日, 旭川

13) 紀野修一、友田豊、遠藤玲美、洪佐琴恵、向野美智代、伊藤喜久：当院における輸血後感染症検査実施とその成績. 第 50 回日本輸血学会北海道支部会例会, 一般演題：平成 18 年 10 月 28 日, 札幌

14) 紀野修一：輸血部門における安全な

輸血管理と適正使用. 熊本大学医学部附属病院輸血療法委員会第 8 回輸血講演会, 講演：平成 18 年 11 月 2 日, 熊本

15) 友田豊、紀野修一、伊藤喜久、池田久實：輸血前保管検体で輸血による HEV ウイルス伝播を確認できた 1 例. 第 53 回日本臨床検査医学会学術集会, 一般演題：平成 18 年 11 月 9 日, 弘前

16) 紀野修一：輸血療法の実施に関する指針について. 平成 18 年度北海道合同輸血療法研修会, 講演：平成 18 年 11 月 18 日, 札幌

17) 紀野修一：輸血療法の実施に関する指針と適正使用について. 市立旭川病院輸血講演会, 講演：平成 18 年 11 月 24 日, 旭川

18) 紀野修一：輸血療法委員会 A to Z - そこで求められる臨床検査技師の役割 -. 札幌輸血談話会第 3 回勉強会, 講演：平成 19 年 2 月 2 日, 札幌

19) 紀野修一：血液製剤の使用指針について. 第 86 回北海道外科学会, 診療のトピックス：平成 19 年 2 月 10 日, 札幌

20) 紀野修一、遠藤玲美、向野美智代、友田豊、洪佐琴恵、伊藤喜久、葛西眞一：当院における貯血式自己血輸血の現状. 第 20 回日本自己血輸血学会総会, ワークショップ：平成 19 年 3 月 10 日, 新潟

21) 紀野修一：輸血部（門）における安全な輸血管理適正使用 - 当院の取り組みを中心に -. 第 21 回新潟輸血研究会, 講演：平成 19 年 3 月 10 日

G. 知的所有権の取得状況

なし